

畜産開発計画行政官の政策立案実施管理能力向上(中堅行政官)
Policy Planning and Project Management on Livestock Development for Livestock Officials (for Middle Level Officials)

対象国の条件:

研修コース番号:201984689-J002

案件番号:201984689

主分野課題:農業開発/家畜衛生・畜産

副分野課題:

使用言語:英語

案件概要

農業、畜産振興に関する国家開発計画等は策定されているが、それを担う人材育成策が体系化されていない途上国に対して、我が国の畜産振興政策展開の経験を踏まえ、途上国の実態に即した政策立案、実施管理能力が備わった中堅行政官を育成する。また、途上国畜産開発に係る行政機構全体の効果的・効率的運営のために総合的な人材育成を推進する。

目標/成果

対象組織/人材

【案件目標】

政策立案に直接関与する人材を対象に研修を行い、自国の畜産行政・制度の改善に向けた取り組みが開始される。

【対象組織】

畜産振興に関する政府関係機関等

【成果】

1. 事前活動 対象国の畜産振興策の課題が明らかになる。
2. 本邦研修
 - (1) 畜産振興策の課題が日本側に説明され、政策課題が共有される
 - (2) 畜産振興策の立案、実施管理に当たっての留意点等を説明できるようになる
 - (3) 政策立案、実施管理に必要な制度的なアプローチ方法、政策効果の波及・増大に必要な方策、ジェンダーと開発を説明できるようになる
 - (4) 畜産振興策の課題を解決するためのアクションプランが作成される
3. 事後活動 本邦研修中に作成されるアクションプランが所属組織で検討され、より実現性が高いものに改善され、実施可能なものから順次実行される。

【対象人材】

(職位) 畜産開発に係る中堅行政官
(職務) 畜産振興に関する政策の企画立案
(職務経験) 3年以上の経験
(その他) 帰国後、畜産振興政策の企画立案に従事することが確実なこと

内容

(事前活動) : 来日前に研修員所属組織において、畜産振興に係る政策課題を抽出・整理
(本邦研修) :
 単元1 抽出・整理された政策課題を発表、日本側関係機関、他の研修員などと共有する
 単元2 日本の畜産・家畜衛生関係行政組織、畜産行政の概要、農協システム、畜産関係団体との連携、家畜飼養管理・繁殖・育種の概要、畜産新技術の普及体制等に関する講義、実習、視察
 単元3 畜産振興策、家畜の改良・家畜衛生施策の各論、国際農業政策、農村開発概論、農村調査法、途上国の畜産政策、PD法等に関する講義、実習、視察 ジェンダーと開発に関する講義、視察
 単元4 アクションプランの作成、発表、討議
 (事後活動) : 帰国後、所属組織でアクションプランの内容を検討、修正し、組織として改善に取り掛かる

本邦研修期間

2019/8/15~2019/10/31

担当課題部

農村開発部

所管国内機関

JICA東北

関係省庁

農林水産省

実施年度

2017~2019

主要協力機関

独立行政法人家畜改良センター

特記事項
及び
ホームページ